

研究 Report

No. 2 令和2年10月 池袋本町小学校

今回の研究 Report では、第2回目の2年1組の研究授業の様子をお知らせします。今回の校内研究は、学級活動と図画工作科の教科横断的な視点から授業を行いました。本時では、学級活動で友達の作品を大切にすること（著作権）について学びました。SNS ノートを使用し、図画工作科で制作した友達の平面作品をまねて描くことの是非について児童が意見を深め合いました。さらに道徳科の「じょうほうとむきあう」（コラム）にもふれ、制作者の許可を得れば表現を参考にしてもよいことを確認しました。教科横断的な視点から「作品に込められた思い」を考え、著作権のルールやマナーを守って行動する態度を身に付けていきます。

題材名 「友だちの作ひんを大切に」

【主な学習活動】

（1）課題をつかむ

友達に作品をまねされて嫌な思いをした人がいることを踏まえ、作品を大切にすることはどのようにすることなのか、意見を出し合いました。



（2）さぐる・見つける

友達の作品をまねすることは、「1 よい」「2 ちょっと変えればよい」「3 いけない」自分はどの考えに近いのか、そのように考える理由も話し合いました。

- ・「3 最初に作った人は頑張って作った」
- ・「3 まねするとどっちが先に作ったか分からない。」

（2）さぐる・見つける

まねをする人の気持ち、まねをされる人の気持ちを考えました。

- ・「後からまねする人は気楽。」
- ・「勝手にまねされたら、相手が悲しむ。」「かわいそう。」
- ・「『いいよ』と言われたら、まねする。」

作品を作った相手の思いを考え、まねをするときは許可を得る必要があることを理解しました。



（3）決める

話し合ったことを参考にして、友達の作品を扱う際に、大切にしたいことを決めました。

- 「友達の作品をまねしたいときには、『まねしてもいい。』とたずねて、『いいよ。』と言われたから、まねします。」
- 「友達の作品に付け足しをしません。」
- 「友達の作品をさわらないで、見るだけにします。」